

NEXUSプログラム

学生チューターの声



NEXUSチューターを務めた立教生による活動の振り返りレポートの中から、学生の声を抜粋する形で紹介します！

私

にとって「伝える」ことの難しさ、それ以上に一緒に学んでいくことの価値を学ぶ貴重な時間となりました。専門用語をやさしい日本語に噛み砕き、相手の視点に立って情報を構造化することを通じて真のコミュニケーションというか、相互理解を学べた気がします。また、単なる学習支援ではない友人として良い関係を築けました。相手が心を開くのを待つのではなく、まず自分が心を開くことで心理的安全性を構築する重要性を学びました。相手を自分たちの枠組みに当てはめるのではなく、異なる価値観を新たな視点として受け入れ、歩み寄る経験ができました。

(2025年度 経営学部3年次)

留

学生と活動したり、グローバルという言葉を知ると、英語など外国語の能力や異文化への寛容性が求められると思っていたが、それだけではなく自分の中の知識をもとに意見を正しく伝える能力が重要であると学んだ。外国など外側ではなく、自分という内側に矢印を向け、自分の意見を伝えることができ初めてグローバルリーダーに近づくことができるという学びを得ることができた。

(2025年度 異文化コミュニケーション学部3年次)

慣

れない日本での新生活、たくさんの日本語の授業と課題、さらに頼れる人がまだ少ないというかなり過酷な状況で頑張っている後輩の姿に刺激をもらった。自分と生まれ育った国も今置かれている状況も全く違うけれど、立教大学の同じ学科に後輩として入ってきてくれたという共通点から広がる会話はとても幅広く、お互いの意見や文化の違いを楽しく話し合うことができ、いい交流ができた。

(2025年度 現代心理学研究科)